



夏休みは学習資料館にいでよ!!!

ラウンジでは、新聞を読んだり、休憩ができます。

(ここではお茶を飲むことができます。自販機あり)

館内ではインターネットを **1人30分** 体験できます。

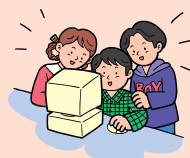
館内のモニターで **1日1回** ビデオやDVDを見ることができます。大切に使ってね。

図書館ボランティアのみなさんによる「かみしばいとおはなしの会」は毎月開催しています。

今回は7月8日(土)午前10時からです。

夏休み前に新しい本がたくさんはいりました。

大人気の「ハリーポッター」以外のファンタジーを集めてみました。新しい絵本もたくさんあります。



学習資料館利用案内

問い合わせ ☎43-3333

本と雑誌の貸出は10冊まで期限は2週間です。

ビデオやCD、DVDは2本まで1週間借りられます。きちんと守ってね。

開館時間 火曜日～土曜日 午前9時から午後7時まで

日曜日 午前9時から午後5時まで

休館日 月曜日、祝日、月末整理日



「生保内川」歩いて食べて癒されたあ～

～「生保内川癒しウォーク」を終えて～

青い空、新緑、そして清らかな流れ

5月21日(日)午前10時、『みんな日頃の信心がよいから晴れたよ。さあ～出発』の聲がかかって、集合場所の総合開発センターから生保内川橋(生保内川癒しの溪流の起点)へと向かう。

老若男女52名の参加者たちは、元気そうな笑顔で歩き始めた。みんな顔見知りの気安さが会話をはずませる。程なく川沿いに古びたコンクリートの壁のようなものが堤防から突き出ているのに気づく。「水制」である。昭和35年8月には、洪水で行方が知れない人も含めて15名が犠牲になった。この水制は、その後に造られたに違いない。水制は読んで字の如く「水の勢いと方向を制す」土木構造物である。生保内川は、急流だから雨が降ると一気に増水し洪水となった。これらの水制群は、水害と戦ってきた生保内川の歴史を語る建造物と言える。

広くなった河原に出ると程よいウォーキングの爽快感に、つい『ここで冷たい缶ビール飲んだら旨いだろうな』と、思ってしまう。「青い空」「新緑」、そして生保内川の「清らかな流れ」の中を歩くことがこんなに気持ちよく「自然に人は癒される」とはこういうことなのだと、歩いてみて改めて実感した。



程なく、一昨年出来たばかりの「大暗渠砂防えん堤」が見えた。えん堤建設の跡地を利用して、これからこの上流に「生保内川癒しの溪流づくり」で、駐車場や休憩所、広場が、高齢者や障害者にも利用し易いユニバーサルデザインを導入して創られる計画がある。『車イスの人も、この生保内川の自然に触れられたら、喜ぶだろうな』と、山景を背にした生保内川を眺

めながら想いをめぐらせた。

参加費五百円を弁当代にあて、えん堤の近くで昼食会を行った。

ボランティアで炊き出された「みそ汁」と、それぞれが持ちよった山菜とアルコールで話しが弾み、時を忘れたかのようだ。

時々、「こまち」の車窓から手を振ってくれ、「まちの人」の環、そして「まちへ訪れる人」との環も出来たように感じる。

清流生保内川が「人の環」を創り出した。

「生保内川癒しの溪流づくり」実行委員会

委員長 菅原陽三 記